

**山口県立山口図書館
第4期中期運営計画**

令和8年3月

山口県立山口図書館

目 次

1 趣旨	P 1
2 計画期間	P 1
3 ミッション	P 2
4 推進方針	P 3
5 ミッション・中期運営計画・具体化プランの位置づけ	P 4
6 第4期中期運営計画	P 5
(1) 調査研究図書館～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～	
(2) 読書推進図書館～読書活動の拠点～	
(3) 全県ネットワーク図書館～図書館ネットワークの拠点～	
7 用語解説	P 3 1
8 参考資料	P 3 4
『県立図書館機能見直し』実施方針（平成22年度策定）の概要	

1 趣旨

山口県立山口図書館では、これからの県立図書館に期待される役割・機能の整理を行い、課題解決に向けた県立図書館機能の重点化・集中化を図るため、平成22年度に『県立図書館機能見直し』実施方針」を策定しました。

この実施方針を踏まえ、県立図書館のミッションや、到達すべき県立図書館の姿を示す「中期運営計画」を5年ごとに策定し、この計画に基づいて、毎年、進捗状況の確認を行ってきたところです。

この間、人口減少・少子高齢化の更なる加速やグローバル化の進展に加え、デジタル分野の急速な技術革新や国際情勢の不安定化など、想定を上回る速度で社会が変化し、将来の予測が困難な時代を迎えています。

こうした中、地域社会が解決すべき問題はますます複雑化し、あふれる情報の中で、県民一人ひとりが自ら考え判断することが重要となっており、県立図書館は全ての県民が必要とする「知識・情報」に到達できるよう、読書バリアフリーや資料・サービスのデジタル化等にも対応しながら、多様な読書機会・情報へのアクセス機会の提供や県内図書館・関係機関等との連携によるサービスの充実を図るなど、地域における「知の拠点」としての役割を積極的に果たすことが求められています。

このような状況を踏まえ、本年度、第3期計画が終期を迎えることから、新たに令和8年度から令和12年度の5年間を計画期間とする第4期計画を策定し、県立図書館の業務をさらに積極的・計画的に展開しようとするものです。

2 計画期間

令和8年度から令和12年度までとします。

山口県立山口図書館は、県民と「知識・情報」をつなぎ、地域文化の創造と継承、人づくりのための県域の拠点となります。

情報化や少子化など、近年の社会経済情勢の急速な変化により、地域社会が解決すべき問題はますます複雑化し、あふれる情報の中で、県民一人ひとりが自ら考え判断することが求められています。

こうした県民の意思決定と自己実現を支えるため、県立図書館には広域的・総合的視点から、多種多様な「知識・情報」の入手を支援していく役割があります。

県立図書館は、蓄積された資料とノウハウを活かしつつ、専門的知識により新たなサービスの開発や、より高品質なサービスの提供を行うことにより、地域文化の創造と継承及び人づくりの拠点として、山口県の「地域力」、「県民力」の向上に寄与します。

○ 山口県立山口図書館は、地域文化づくりの拠点となります。

県立図書館は、全ての県民が必要とする「知識・情報」に到達できるよう、広域的な環境づくり・仕組みづくりを進め、情報格差の解消を図り、県民の暮らしや経済活動を支えます。

また、県立図書館には120余年にわたる豊富で貴重な資料があります。中でも、幕末・明治維新期に関する資料、郷土ゆかりの作家による文学作品、大内時代から伝わる貴重資料など、山口県に関する多様なコレクションは、県立図書館の核となるものであり、次代に向けて継承するとともに、これらを積極的に活用し、新たな文化の創造を促進します。

○ 山口県立山口図書館は、人づくりの拠点となります。

読書こそ県民の知的活動の基礎となることから、県立図書館は、利用者のニーズに応じた資料の提供や子どもの読書活動への支援、「読書バリアフリー化」の推進など、より多くの県民が読書に親しむことができるよう、読書環境の整備に取り組めます。

○ 山口県立山口図書館は、ネットワークづくりの拠点となります。

県内の公共図書館は、他の公共図書館や大学図書館、専門機関等と幅広く連携・協力することが求められています。県立図書館は、県域における「図書館のための図書館」として、物流や情報共有を含めた図書館相互のネットワークの中核をなすとともに、県内図書館職員のスキルアップを図りながら、利用者が県内のどこにいても質の高い図書館サービスを受けることができる仕組みづくりを推進します。

4 推進方針

第4期中期運営計画では、以下に示す重点的方策及び継続的に取り組むべき事項を中心に取組を進めていきます。

◆重点的方策

- ・ 調査研究への積極的な支援
- ・ 持続可能な図書館サービス・運営体制の構築
- ・ 全ての県民が読書に親しむことのできる環境の整備
- ・ 県下全域を対象とした広域利用の促進
- ・ 図書館ネットワークの中核機能の発揮
- ・ 図書館サービス及び読書環境の向上を図るための人材育成

◆継続的に取り組むべき事項

- ・ 山口県資料の収集・保存と提供手段の検討
- ・ 地域文化の伝承と創造及びそれらに携わる人材育成への寄与
- ・ 県立図書館職員の継続的な資質向上

【凡例】

- ・ 実行計画の○は実施、→は継続を示す。
- ・ 「※」を付けた用語は、「用語解説」(P.31)にその解説を載せている。

(1)調査研究図書館～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～

【重点目標】

- ◆県民の調査・研究を支える資料を収集し、他機関との連携を図り、司書の専門性を活かして情報提供サービスを強化します。
- ◆所蔵する貴重なコレクションを継承するとともに、その活用促進を図るため、資料を整理し、情報提供を行います。
- ◆山口県に関する資料を積極的に収集し、適切に保存するとともに、「山口県の知」のコレクションとして様々な形で情報発信を行います。
- ◆県内図書館等と協力し、県内での山口県に関する資料の保存を進めます。

【主な取組】

ア 県民の「調査研究」を支える資料の充実とサービスの展開

(7) 市町立図書館等との機能分担と連携を踏まえた資料の充実と活用

a 機能分担と連携を踏まえた資料収集の推進

〈取組の方向性〉

- 専門的な図書・資料収集の充実

〈具体的事業〉

- ◎ 参考・専門図書の幅広い収集
- ◎ 市町立図書館・大学図書館を対象とした専門的図書・資料収集希望調査の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
市町立図書館等を対象とした収集希望調査					○調査実施

b 紙資料・電子資料のバランスを考慮した専門的蔵書構築の推進

〈取組の方向性〉

- 電子資料（※1）の充実及び紙資料収集の見直し
- 電子図書館サービス整備内容の見直し

〈具体的事業〉

- ◎電子書籍収集方針の見直し
- ◎電子書籍分野別選書基準の策定
- ◎CD、DVD等の選書基準の策定
- ◎紙資料・電子資料の購入比の検討

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
電子書籍収集方針の見直し	○検討・見直し	○運用	→	→	→
電子書籍分野別選書基準の策定	○検討・策定	○運用	→	→	→
CD、DVD等の選書基準の策定	○検討・策定	○運用	→	→	→
紙資料・電子資料の購入比の検討	○検討	→	→	→	→

c 収集資料活用の推進

〈取組の方向性〉

- 電子資料の活用推進
- 収集資料を活用した資料展示、情報提供の実施

〈具体的事業〉

- ◎電子資料活用講座・研修会の実施
- ◎データベース利用の普及啓発
- ◎収集資料を活用した資料展示の実施
- ◎新たに収蔵した資料情報のウェブサイトでの提供
- ◎県立図書館が作成したコンテンツ等のオープン化の検討

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
電子資料活用講座・研修会の実施	→	→	→	→	→
データベース利用の普及啓発	→	→	→	→	→
収集資料を活用した資料展示の実施	→	→	→	→	→
新たに収集した資料情報のウェブサイトでの提供	→	→	→	→	→
県立図書館が作成したコンテンツ等のオープン化の検討	○検討	→	→	→	→

(イ) レファレンスサービスの充実

a 調査相談機能の充実

〈取組の方向性〉

- 職員のレファレンス（※2）技能向上
- 利用者への図書館活用方法の周知

〈具体的事業〉

- ◎レファレンス技能向上のための職員研修の実施
- ◎レファレンスサービス利用の広報・周知
- ◎利用者向け図書館活用講座等の開催

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
レファレンス職員研修実施	→	→	→	→	→
レファレンスサービス利用の広報・周知	→	→	→	→	→
利用者向け図書館活用講座等の開催	→	→	→	→	→

b レファレンス情報発信機能の充実

〈取組の方向性〉

- ウェブサイトを活用したレファレンス情報の発信
- 国立国会図書館との連携によるレファレンス情報の県民への発信

〈具体的事業〉

- ◎ ふるさと文献情報データベース（※3）の充実（公開データの登録・更新）
- ◎ パスファインダー（※4）の作成とウェブサイトでの公開
- ◎ 国立国会図書館のレファレンス協同データベース（※5）へのレファレンス事例及びパスファインダーの提供

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
ふるさと文献情報データベースの登録・更新	→	→	→	→	→
パスファインダー作成・ウェブサイトでの公開	→	→	→	→	→
レファレンス協同データベースへの事例等提供	→	→	→	→	→

【主な取組】

イ 郷土資料の収集・活用の推進

(7) 郷土資料の収集強化とデジタル化の推進

a 郷土資料の収集強化

〈取組の方向性〉

- 様々な媒体の郷土資料（※6）収集の充実

〈具体的事業〉

- ◎ 郷土資料の幅広い収集
- ◎ 郷土に関するインターネット資料・オンライン資料等のポーンデジタル資料（※7）の収集についての検討（収集方針策定等）

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
郷土資料の幅広い収集	→	→	→	→	→
ポーンデジタル資料の収集についての検討	○検討・策定	○実施	→	→	→

b 郷土資料のデジタル化の推進

〈取組の方向性〉

- 郷土資料デジタル化に向けた取組の強化
- 未公開電子資料の活用推進
- 既存デジタルアーカイブ（※8）の活性化

〈具体的事業〉

- ◎ 郷土資料デジタル化方針及び計画の策定
- ◎ 未公開電子資料の提供
- ◎ デジタルアーカイブコンテンツの拡充

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
郷土資料デジタル化方針及び計画の策定	○検討	○策定	○運用	→	→
未公開電子資料の提供	○提供	→	→	→	→
デジタルアーカイブコンテンツの拡充	○登録	→	→	→	→

(イ) 「ふるさと山口文学ギャラリー」の充実

a 山口県文学資料の収集と活用

〈取組の方向性〉

- 山口県文学資料の幅広い収集
- 収集資料を活用した資料展示、情報提供の実施
- やまぐち文学回廊構想推進協議会との連携

〈具体的事業〉

- ◎「ふるさとの文学者100人」を含む山口県文学資料の収集
- ◎収集資料を活用した資料展示の実施【再掲】
- ◎新たに収集した資料情報のウェブサイトでの提供【再掲】
- ◎文学者別資料リスト等の作成・更新
- ◎やまぐち文学回廊構想推進協議会との連携事業実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
山口県文学資料の収集	→	→	→	→	→
収集資料を活用した資料展示の実施【再掲】	→	→	→	→	→
新たに収集した資料情報のウェブサイトでの提供【再掲】	→	→	→	→	→

文学者別資料 リスト等の作 成・更新	→	→	→	→	→
やまぐち文学 回廊構想推進 協議会との連 携事業実施	→	→	→	→	→

(ウ) 「明治維新資料室」「明治維新人物ギャラリー」等の充実

a 関係資料の収集と活用

〈取組の方向性〉

- 明治維新資料の収集継続
- 収集資料を活用した資料展示、情報提供の実施

〈具体的事業〉

- ◎関係資料の幅広い収集
- ◎収集資料を活用した資料展示の実施【再掲】
- ◎新たに収蔵した資料情報のウェブサイトでの提供【再掲】
- ◎ふるさと文献情報検索における維新関連項目のデータ新規登録・更新

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
関係資料の幅 広い収集	→	→	→	→	→
収集資料を活用した資料展 示の実施 【再掲】	→	→	→	→	→
新たに収蔵し た資料情報の ウェブサイト での提供 【再掲】	→	→	→	→	→
ふるさと文 献情報検索の 新規登録・更新	→	→	→	→	→

【主な取組】

ウ 持続可能な知の拠点構築の推進

(7) 調査研究図書館として持続可能な資料保存の推進

a 持続可能な資料保存の推進

〈取組の方向性〉

- 資料の蓄積と更新を継続的に行うための保存スペースの確保
- 適切な除籍の実施

〈具体的事業〉

- ◎外部書庫等の新たな保存スペースの検討
- ◎除籍基準に則った除籍の計画的実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
新たな保存スペースの検討	○検討	→	(○確保)	→	→
除籍基準に則った除籍の計画的実施	○実施	→	→	→	→

〈評価指標〉

- ①資料購入費における参考・専門図書購入費の割合（年間割合）
第3期計画目標値：65% → 第4期計画目標値：68%
- ②電子資料活用講座・研修会受講者数／年
第3期計画目標値：20人 → 第4期計画目標値：20人
- ③レファレンス処理票新規作成件数／年
第3期計画目標値：700件 → 第4期計画目標値：700件
- ④利用者向け図書館活用講座等の開催回数／年
第3期計画目標値：2回 → 第4期計画目標値：2回
- ⑤ふるさと文献情報データベースの登録データ件数（新規・追加・更新）／年
第3期計画目標値：300件 → 第4期計画目標値：300件
- ⑥レファレンス協同データベースへのレファレンス事例及びパスファインダーの提供件数／年
第3期計画目標値：65件 → 第4期計画目標値：70件
- ⑦郷土資料のデジタル化点数／年
新規 → 第4期計画目標値：10点
- ⑧文学者別資料リスト等の作成件数／年
第3期計画目標値：5件 → 第4期計画目標値：5件

(2) 読書推進図書館～読書活動の拠点～

【重点目標】

- ◆ 県民の読書活動を促進するため、図書館サービスの充実に努めるとともに、企画展示などの啓発活動に積極的に取り組みます。
- ◆ 子どもの読書活動推進のため、山口県子ども読書支援センターを推進拠点として、市町立図書館や家庭、学校、民間読書ボランティア団体等に対する支援を充実します。
- ◆ 通常の見書や図書館の利用に困難がある県民に対し、様々な形の図書館サービスと読書の機会を提供します。

【主な取組】

ア 子どもの読書活動の推進

(7) 山口県子ども読書支援センターの運営及び県立図書館における児童サービスの充実（山口県子ども読書活動推進計画の推進）

a 子どもの読書活動を支える人材の育成

〈取組の方向性〉

- 子どもと本をつなぐ人材（図書館職員、司書教諭・学校司書、読書ボランティア等）の資質向上

〈具体的事業〉

- ◎ 図書館職員、司書教諭・学校司書、読書ボランティア等を対象とした研修の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R 11	R12
図書館職員、読書ボランティア等を対象とした研修の実施	→	→	→	→	→

b 子どもの読書活動を推進する図書館・学校・関係機関等との連携・協働

〈取組の方向性〉

- 学校・学校図書館への支援と連携強化
- 市町立図書館・関係部局・機関・ボランティア団体等との連携強化
- 子どもの読書に係る情報提供
- 県内高校生対象の事業の実施

〈具体的事業〉

- ◎ 県市町教育委員会・学校・市町立図書館等主催の研修会への講師派遣及び読書活動「ライぶらり」(※9)の実践支援などの出張講座の実施
- ◎ 小・中学校等を対象とした「出前こどもとしょかん」の実施
- ◎ 学校図書館、市町立図書館、市町教育委員会等への訪問、協議、相談対応の実施
- ◎ メールマガジンの配信、ウェブサイトによる情報提供
- ◎ 「ぷち・インターン」(※10)等、高校生を対象とした来館促進事業の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
研修会への講師派遣、「ライぶらり」の実践支援などの出張講座実施	→	→	→	→	→
小・中学校等を対象とした「出前こどもとしょかん」の実施	→	→	→	→	→
学校図書館等への訪問、協議、相談対応の実施	→	→	→	→	→
メールマガジンの配信、ウェブサイトによる情報提供	→	→	→	→	→
「ぷち・インターン」等の実施	→	→	→	→	→

c 子どもの読書活動推進のための実践と技術・ノウハウの蓄積及び資料・情報提供の充実

〈取組の方向性〉

- 児童資料・ティーンズ資料・子ども読書研究資料等の蔵書の充実
- 資料情報提供サービスの充実
- 読み聞かせやブックトークなどの子どもと本をつなぐ読書活動の実践とノウハウの蓄積
- 児童サービス、学校図書館支援に係る県立図書館職員の資質向上

〈具体的事業〉

- ◎収集方針に基づいた収集の確実な実施
- ◎子どもの本のテーマ別ブックリストの作成と更新
- ◎幼児対象のおはなし会や子ども対象の行事、親子で楽しめる行事等の実施
- ◎学校図書館・幼稚園・保育園・ボランティア団体等への団体貸出及び新刊児童書閲覧会の実施
- ◎県立図書館職員のスキルアップのための研修の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
収集方針に基づいた収集の確実な実施	→	→	→	→	→
ブックリストの作成・更新	→	→	→	→	→
おはなし会や子ども対象の行事等の実施	→	→	→	→	→
学校図書館等への団体貸出、新刊児童書閲覧会の実施	→	→	→	→	→
県立図書館職員の研修の実施	→	→	→	→	→

【主な取組】

イ 図書館サービスの充実

(7) 県域サービスの充実

a 県域サービスの推進及び周知

〈取組の方向性〉

- 広域的利用者向けサービスの推進及び周知
- 図書館DX（※11）の視点を踏まえたサービスの充実
- アクティブシニア（※12）の図書館利用促進

〈具体的事業〉

- ◎ 各サービスのチラシ、ポスター等の作成・配布
- ◎ 電子図書館サービスの充実及び広報・周知
- ◎ 図書館等公衆送信サービスの検討
- ◎ 県立図書館が作成したコンテンツ等のオープン化の検討【再掲】
- ◎ アクティブシニア向け講座の開催

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
チラシ、ポスター等の作成・配布	○作成・配布	→	→	→	→
電子図書館サービスの充実及び広報・周知	→	→	→	→	→
図書館等公衆送信サービスの検討	○検討	→	→	→	→
県立図書館が作成したコンテンツ等のオープン化の検討【再掲】	○検討	→	→	→	→
アクティブシニア向け講座の開催	→	→	→	→	→

(イ) バリアフリーサービスの推進

a バリアフリー資料の充実

〈取組の方向性〉

- バリアフリー資料（※13）の収集強化
- 電子書籍サービスにおけるアクセシビリティ対応の強化
- 日本語を母語としない利用者に対応した資料収集・提供

〈具体的事業〉

- ◎大活字本（※14）やLLブック（※15）等、多様な利用者に対応した資料の収集
- ◎アクセシビリティに配慮した電子書籍の購入
- ◎多言語資料の収集計画の見直し及び計画に沿った収集・提供

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
多様な利用者に対応した資料の収集	→	→	→	→	→
アクセシビリティに配慮した電子書籍の購入	→	→	→	→	→
多言語資料の収集計画の見直し及び計画に沿った収集・提供	→	→	→	→	→

b バリアフリーサービスの充実

〈取組の方向性〉

- 読書バリアフリー法やユニバーサルデザインを踏まえたサービスの充実強化

〈具体的事業〉

- ◎市町立図書館におけるバリアフリーサービスの実施状況調査及び結果の共有
- ◎国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスやサピエ図書館を活用したアクセシブルな電子書籍（デイジー図書、テキストデータ等）の提供・利用促進
- ◎ウェブアクセシビリティ（※16）に配慮したウェブサイトの運用
- ◎バリアフリーサービスの広報・周知

◎バリアフリーサービスに係る研修の実施及び支援

◎やさしい日本語による利用案内の活用及び内容の定期的な見直し

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
バリアフリーサービスの実施状況調査			○実施		
アクセシブルな電子書籍の提供・利用促進	→	→	→	→	→
ウェブアクセシビリティに配慮したウェブサイトの運用	→	→	→	→	→
バリアフリーサービスの広報・周知	→	→	→	→	→
バリアフリーサービスに係る研修の実施及び支援	→	→	→	→	→
やさしい日本語による利用案内の活用及び定期的な見直し	→	→	→	→	→

【主な取組】

ウ 読書啓発活動の推進

(7) 読書啓発活動の充実

a 情報発信、イベント等の実施

〈取組の方向性〉

- 資料展示による所蔵資料紹介
- 読書に楽しむ機会の提供

〈具体的事業〉

- ◎「ニュースを読む」(※17)等の館内展示の企画・実施
- ◎読書イベントの実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
館内展示の企画・実施	→	→	→	→	→
読書イベントの実施	→	→	→	→	→

〈評価指標〉

- ①子どもの読書に関する研修会の開催回数／年
第3期計画目標値：8回 → 第4期計画目標値：8回
- ②「出前こどもとしょかん」の実施回数／年
新規 → 第4期計画目標値：25回
- ③子どもの本のテーマ別ブックリストの作成・更新件数／年
第3期計画目標値：4.6件 → 第4期計画目標値：5件
- ④館外貸出冊数における市町立図書館を通じた貸出冊数（e-Net 貸出及び協力貸出）／年
第3期計画目標値：12,000冊 → 第4期計画目標値：13,000冊
- ⑤山口図書館電子図書館サービスにおける収集タイトル数（累計）
新規 → 第4期計画目標値：7,500点
- ⑥大活字本、LLブック等の貸出冊数／年
新規 → 第4期計画目標値：1,300冊
- ⑦バリアフリーサービスに係る啓発活動の実施件数／年
新規 → 第4期計画目標値：10件
- ⑧障害者等、多様な利用者への対応のための職員研修の実施回数／年
第3期計画目標値：2回 → 第4期計画目標値：2回
- ⑨読書イベント等の実施回数／年
第3期計画目標値：3回 → 第4期計画目標値：5回

(3) 全県ネットワーク図書館～図書館ネットワークの拠点～

【重点目標】

- ◆デジタル技術の利活用により、広域利用を促進し、どこに居住していても図書館サービスを利用できるようにします。
- ◆県立図書館と市町立図書館等との機能分担を踏まえ、県立図書館を中核とした市町立図書館、大学図書館、関係機関との協力・連携体制のもと、資料の相互貸借等、多様な利用者に対応したサービスの充実に努めます。
- ◆県内図書館職員のスキルアップをサポートします。

【主な取組】

ア 県内図書館との連携・協力（資料の相互利用、情報・ノウハウの提供等）

(7) 県内市町立図書館等の連携強化

a ICTの活用による情報共有の推進

〈取組の方向性〉

- グループウェア（※18）運営による情報共有の推進
- ICTを活用した連携の強化

〈具体的事業〉

- ◎グループウェアの適切な運営
- ◎市町立図書館等との会議のオンライン開催による情報共有の強化

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
グループウェアの適切な運営	→	→	→	→	→
市町立図書館等との会議のオンライン開催	→	→	→	→	→

b 物流及び人的交流の充実

〈取組の方向性〉

- 協力貸出等の図書館間サービスの利用促進・周知強化
- 定期的な市町立図書館訪問による連携の強化
- 業務相談、協力レファレンスの推進
- 連携事業の推進
- 収集資料を活用した資料展示の実施

〈具体的事業〉

- ◎協力貸出等の利用促進ポスター・チラシの作成・配布
- ◎協力貸出等のSNS等での情報発信
- ◎市町立図書館訪問・情報収集の実施
- ◎オンラインを活用した業務相談、情報収集、協力レファレンスの強化
- ◎館外イベント等と連携した出前図書館、展示資料一括貸出等の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
利用促進ポスター・チラシの作成・配布	○作成・配布	→	→	→	→
S N S 等での情報発信	→	→	→	→	→
市町立図書館訪問・情報収集の実施	→	→	→	→	→
オンラインを活用した業務相談、情報収集、協力レファレンスの強化	→	→	→	→	→
館外イベント等と連携した出前図書館等の実施	→	→	→	→	→

(1) 大学図書館との連携

a 大学図書館との連携推進

〈取組の方向性〉

- 3館協定館（山口大学図書館、山口県立大学図書館）との連携事業の実施

●大学図書館と連携した図書館サービスの充実

〈具体的事業〉

- ◎3館協定館との連携行事の実施
- ◎3館協定館との資料収集に係る情報交換・協議の実施
- ◎大学図書館を含めた県内図書館横断検索システムの運用
- ◎協力貸出等の利用促進ポスター・チラシの作成・配布【再掲】
- ◎県内大学司書課程への講師派遣

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
連携行事の実施	→	→	→	→	→
資料収集に係る情報交換・協議の実施	→	→	→	→	→
県内図書館横断検索システムの運用	→	→	→	→	→
利用促進ポスター・チラシの作成・配布【再掲】	○作成・配布	→	→	→	→
県内大学司書課程への講師派遣	→	→	→	→	→

(ウ) 県内図書館関係団体との連携推進

a 山口県図書館協会との連携・協力推進

〈取組の方向性〉

- 山口県図書館協会との連携による全県的な図書館振興の推進

〈具体的事業〉

- ◎図書館振興に係る事業（「図書館振興県民のつどい」等）の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
「つどい」等実施	→	→	→	→	→

b 山口県大学図書館協議会・山口県学校図書館協議会との連携推進

〈取組の方向性〉

- 館種を超えた協力体制の強化

〈具体的事業〉

- ◎研修会等の共催事業の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
共催事業実施	→	→	→	→	→

【主な取組】

イ 関係施設・団体等との連携推進

(7) 専門機関との連携推進

a 専門機関との情報交換・連携体制の維持・発展

〈取組の方向性〉

- 専門機関等との連携事業推進
- 専門機関等との連携による効率的な資料収集

〈具体的事業〉

- ◎やまぐち産業振興財団等との連携事業の実施
- ◎調査相談業務等における専門機関との連携
- ◎レファレンス研修における専門機関との連携（専門講師の招聘等）
- ◎館外イベント等と連携した出前図書館、展示資料一括貸出等の実施【再掲】
- ◎社会福祉団体ほか幅広い公的分野を対象とした新たな連携先の開拓及び連携事業の実施
- ◎「山口県産業技術センターセレクション」の充実
- ◎資料収集に係る新たな県関連機関との連携推進

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
やまぐち産業振興財団等との連携事業の実施	→	→	→	→	→
調査相談業務等における専門機関との連携	→	→	→	→	→
レファレンス研修における専門機関との連携	→	→	→	→	→
館外イベント等と連携した出前図書館等の実施 【再掲】	→	→	→	→	→
公的分野を対象とした新たな連携先の開拓・連携事業実施	→	→	→	→	→
「山口県産業技術センターセレクション」の充実	→	→	→	→	→
資料収集に係る新たな県関連機関との連携推進	→	→	→	→	→

(イ) 地域づくり、まちづくりイベントへの協力

a 商工会議所等との連携事業の推進

〈取組の方向性〉

- 図書館の資料及び職員の知識技能の地域への積極的な還元

〈具体的事業〉

- ◎山口市商工会議所等との連携事業の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
山口市商工会議所等との連携事業実施	→	→	→	→	→

(ウ) パークロード周辺文化施設（美術館、博物館等）との連携推進

a 連携事業の実施

〈取組の方向性〉

- 情報交換、企画連携による連携事業の推進
- 美術館、博物館等の専門性を活かした行事の開催

〈具体的事業〉

- ◎企画展と関連した資料展示の実施
- ◎博物館等と連携した子ども向け講座の開催

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
企画展と関連した資料展示の実施	→	→	→	→	→
子ども向け講座の開催	→	→	→	→	→

【主な取組】

ウ 図書館職員、図書館活動に関わる人材の育成

(ア) 図書館司書研修の充実

a 市町立図書館職員研修の充実

〈取組の方向性〉

- ニーズに基づいた計画的な研修の実施
- 市町立図書館主催研修の活性化

〈具体的事業〉

- ◎研修に係るアンケート調査の実施
- ◎新任職員基礎講座の開催
- ◎図書館職員等専門講習会の開催
- ◎市町立図書館職員向け研修のアーカイブ配信の実施
- ◎市町立図書館研修への講師派遣

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
研修に係るアンケート調査の実施	→	→	→	→	→
各研修の実施	→	→	→	→	→
市町立図書館職員向け研修のアーカイブ配信の実施	○実施	→	→	→	→
市町立図書館研修への講師派遣	→	→	→	→	→

b 県立図書館司書職員の資質向上

〈取組の方向性〉

- 計画的な研修の実施

〈具体的事業〉

- ◎年間計画に沿った研修の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
年間計画に沿った研修	→	→	→	→	→

(1) 図書館活動に関わる人材の育成

a 大学の司書課程などへの協力

〈取組の方向性〉

- 図書館実習等への協力

〈具体的事業〉

- ◎司書課程実習の受入れ
- ◎インターンシップ・職場体験学習の受入れ
- ◎県内大学司書課程への講師派遣【再掲】

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
実習等受入れ	→	→	→	→	→
県内大学司書課程への講師派遣 【再掲】	→	→	→	→	→

b 図書館ボランティアの養成、活動促進

〈取組の方向性〉

- 山口図書館サポーター（※19）活動の充実
- 市町立図書館等におけるボランティア受入・養成に対するサポート

〈具体的事業〉

- ◎ボランティア団体への働きかけ等による山口図書館サポーターの募集
- ◎山口図書館サポーター参加事業の充実
- ◎図書館ボランティアへの研修等の実施
- ◎市町立図書館のボランティア活動に対する業務相談、講師紹介等の実施

〈工程表〉

事業内容	R 8	R 9	R10	R11	R12
山口図書館サポーター募集	→	→	→	→	→
山口図書館サポーター参加事業充実	→	→	→	→	→
図書館ボランティアへの研修等の実施	→	→	→	→	→
市町立図書館のボランティア活動に対する業務相談等の実施	→	→	→	→	→

〈評価指標〉

- ①市町立図書館から受ける業務相談・協レファレンス等の件数／年
新規 → 第4期計画目標値：80件
- ②出前図書館、展示資料一括貸出の実施回数／年
第3期計画目標値：15回 → 第4期計画目標値：15回
- ③山口大学図書館、山口県立大学図書館との連携行事の開催回数／年
第3期計画目標値：2回 → 第4期計画目標値：3回
- ④連携事業の実施件数／年
新規 → 第4期計画目標値：20件
- ⑤県内図書館職員向け研修受講者数／年
第3期計画目標値：240人 → 第4期計画目標値：250人
- ⑥図書館ボランティアへの研修等の実施回数／年
第3期計画目標値：3回 → 第4期計画目標値：3回

【用語解説】

※1 電子資料

情報の蓄積、流通に電子媒体を用いた資料のこと。CD-ROM等に収録されたパッケージ型とインターネットを介して提供されるネットワーク型に大別される。電子資料には、従来の図書が電子的に出版された電子書籍や、文化財を電子情報として記録したデジタルアーカイブ、オンラインで官報や新聞記事、法令情報等を検索できるオンラインデータベース等がある。

※2 レファレンス

何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が図書館資料やデータベース等を調査し、求められている情報あるいは資料を紹介・提供することによって援助すること。

※3 ふるさと文献情報データベース

山口県立山口図書館の所蔵資料の中から、山口県に関係する事柄や人物について調べるために参考になる資料をテーマ別にまとめた文献情報データベース。山口県に関する事柄・団体・物・人物等のキーワードから検索・閲覧ができる。

※4 パスファインダー

ある事柄について、それを知るための最初の一步となる図書・資料や、その探し方を紹介したもの。「調べ案内」とも呼ばれる。

※5 レファレンス協同データベース

国立国会図書館が運営し、全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース。全国の図書館で受け付けた調査の記録や調べ方などが検索できる。

※6 郷土資料

図書館の所在する地域や自治体(山口県や県内市町)に関係する資料のこと。主に、その内容、主題が地域に関係した資料や、自治体が発行する資料、地域の出身者や在住者の著作物等を指す。

※7 ボーンデジタル資料

作成当初からデジタル形式で記録され、印刷されたメディアを持たず、電子メディアによってのみ作成され流通する情報のこと。冊子体が刊行されず、電子体のみが発行される電子ジャーナルや電子書籍、ウェブサイト等が該当する。

※8 デジタルアーカイブ

図書等の文化財を電子情報として記録し、劣化なく永久保存するとともに、ネットワークなどを用いて提供すること。

※9 ライぶらり

参加者が図書館を散策し、面白そうと思った本を選び、なぜその本を選んだのかを短時間で紹介し合う、全員参加型の読書活動（山口県子ども読書支援センターにおいて平成30年に考案）

児童生徒を図書館に出会わせることによって、読書の幅を広げ、発達段階に応じた自主的な読書活動を促すとともに、学校図書館や公立図書館の自主的な活用を促進する。

※10 ぷち・インターン

山口県立山口図書館で高校生の来館促進事業として実施している、図書館や司書に関心のある高校生を対象とした職場体験。司書の仕事体験や職員との意見交換等を行っている。

※11 図書館DX

デジタルデータ、インターネット、AI等のデジタル技術を活用し、図書館サービス等を革新すること。

※12 アクティブシニア

山口県立山口図書館では、その培った豊富な経験や知識、技能を生かし、地域社会への貢献に意欲を持つ、図書館の利用に支障がない高齢者を「アクティブシニア」と位置付けている。

※13 バリアフリー資料

視覚障害や学習障害、肢体不自由などで通常の活字資料の利用が困難な方のために工夫された資料。大活字本やLLブック、点字図書、デージー図書（音声デージー図書、マルチメディアデージー図書）、さわる絵本等が含まれる。

※14 大活字本

弱視者（低視力者、高齢者など）にも読みやすいように、内容はそのまま、文字の大きさや行間等を調整し、大きな活字で組み直した本。

※15 LLブック

図や写真を多く使い、やさしく分かりやすい文章で書かれているなどの工夫がされた図書。

LLは、スウェーデン語でLättläst(レットラスト)の略で、「やさしくて分かりやすい」という意味。

※16 ウェブアクセシビリティ

主に、高齢者及び障害者のウェブサイト利用に対する配慮。「ウェブサイトを利用している全ての人々が、心身の条件や利用する環境に関係なく、ウェブサイト上で提供されている情報や機能に支障なくアクセスし、利用できること」を意味する。

※17 ニュースを読む

館内で実施しているミニ資料展示。時事や季節の行事、関連施設のイベント等、その時々に関心したテーマに基づいて関連する資料を選び、書架や展示コーナーに並べて紹介する。

※18 グループウェア

会社や部署などグループでの作業を効率化するため、電子メールや電子掲示板機能等を備えたソフトウェアで、ここではインターネット等を介して利用できるものを指す。

※19 山口図書館サポーター

図書館活動の一層の活性化と図書館振興を図るため、図書館の活動や取組等に対する様々な支援を行っていただくボランティアについて、山口県立山口図書館においてはこれを、「山口図書館サポーター」と呼称している。

「『県立図書館機能見直し』実施方針」（平成22年度策定）の概要

高度情報化社会の更なる進展や、読書離れ・活字離れの進行、国・地方を通じた厳しい行財政運営など、県立図書館を取り巻く社会情勢に対応し、機能の重点化・集中化を図るため、以下の3つの方針に基づく図書館サービスに重点的に取り組むこととする。

(1) 調査研究図書館 ～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～

「知識・情報」を効果的に得ることの必要性が高まっていることから、広域的な視点から、県民と「知識・情報」をつなぐための仕組みづくりを進める。

(2) 読書推進図書館 ～読書活動の拠点～

読書こそ県民の知的活動の基礎として「県民力」向上のために不可欠であることから、これまでの子ども読書推進の実績を踏まえ、より多くの県民が読書に親しむことができるような「読書のバリアフリー化」を目指した読書推進に発展させる。

(3) 全県ネットワーク図書館 ～図書館ネットワークの拠点～

住民が身近に利用する市町立図書館サービスの充実に加え、県内に点在する多様な資料・情報を効率的に提供できる仕組みが必要であることから、県立図書館を中核とした市町立図書館、大学図書館、専門機関等とのネットワーク形成により、県内図書館が一体となった連携体制の構築を図る。